

令和元年度第1回愛媛県出資法人経営評価専門委員会 議事概要

日 時	令和元年9月10日(火) 10:00~11:30
場 所	愛媛県庁 第二別館5階 第6会議室
出席者	
〔委員〕	岡本委員長、秋葉委員、弘末委員、宮川委員(4名)
〔事務局〕	行財政改革局長、行革分権課長、同課主幹ほか

《 開 会 》

○ 行財政改革局長あいさつ

○ 議 事

- (1) 委員長の選任について
- (2) 委員長代行の選任について
- (3) 令和元年度の経営評価の進め方等について
- (4) 各県出資法人の平成30年度の取組状況を踏まえた令和元年度自己点検評価(1次評価)結果等について

【岡本委員長】

それでは、これより議事に入らせていただきます。

まず、今回は、今年度最初の委員会ですので、令和元年度の経営評価の進め方等について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、令和元年度の経営評価の進め方等について説明させていただきます。

— 事務局説明 —

【岡本委員長】

ただいまの説明につきまして、各委員から、何か御意見や確認事項等がございましたらお願いします。

【各委員】

(意見等なし)

【岡本委員長】

それでは、事務局の説明どおりに経営評価を進めていくこととさせていただきます。

次に、各県出資法人の平成30年度の取組み状況を踏まえた令和元年度自己点検評価（1次評価）結果等について、事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、平成30年度事業における県出資法人の経営状況等について説明させていただきます。

－ 事務局説明 －

【岡本委員長】

ありがとうございました。

事務局からの説明につきまして各委員からお気付きの点がありましたら御発言をお願いします。

【弘末委員】

愛媛県廃棄物処理センターについて、予定よりも1年早く稼働を休止したということですが、今はどういう状況になっていますか。

また、今後については関係機関で協議することですが、どのような検討がされているのでしょうか。

【事務局】

東予の事業所を休止することから、事業を継承できる団体がないか、民間団体に対する施設譲渡の公募を行いました。条件に合う団体が見つからなかったため、今後、譲渡が不調の場合も見据え東予5市町と協議を進めていると聞いております。

【秋葉委員】

愛媛県廃棄物処理センターの土地は売却することになると思われませんが、土壌汚染の問題もあって、土壌改良に多額の資金が必要になります。

その点については、現在、どのように検討されているのでしょうか。

【事務局】

現状について、所管課に確認しておきます。

【秋葉委員】

県出資の公益財団法人は、収支計算書も作っていると思います。

財団の継続性を確認するのであれば、収支計算書のほうが分かりやすいので、提出してもらえないでしょうか。

【事務局】

所管課に確認し、可能であれば事務局で整理させていただきます。

【宮川委員】

えひめ産業振興財団について、下請企業振興事業というのは、具体的にどのようなことを行っているのでしょうか。

【事務局】

発注情報の収集・提供や、主要な企業を個別に訪問し、県内の下請中小企業のPRなど、マッチング支援に関する事業を行っています。

【宮川委員】

県外の主要企業とのマッチング支援はしていないのでしょうか。

【事務局】

県外の主要企業を対象としたマッチング支援をしているかどうかについては、財団に確認しておきます。

【宮川委員】

愛媛県国際交流協会について、在留外国人はととも増えていると思いますが、なぜ相談件数が減ったのでしょうか。

また、協会はこういった収入を財源に運営されているのでしょうか。

【事務局】

相談件数が減った要因については、協会に確認しておきます。

また、財源については、債券運用がメインと思われませんが、こちらについても併せて確認しておきます。

【宮川委員】

役割が増えていく一方で、収入が不安定な状況となっています。債権の売却によって利益を確保しているとありますが、資金がうまく回っていれば良いですが、基本財産が目減りしているといったことはないのでしょうか。

【事務局】

県出資法人では、原則、国債などの安全な債券での運用が図られていますが、低金利が続き、利回りが少ない状況で、人件費等の経費の確保が厳しいと聞いています。

先ほど秋葉委員がおっしゃっていたように、収支計算書を基に、基本財産の状況を調べ、中長期での運営が可能か確認したいと思います。

【岡本委員長】

出資金を基に、債券を運用して日常活動の資金を稼がなければならないので、苦しい法人が多いということは確かです。

例えば、海づくり基金では、以前、ハイリスク・ハイリターンの債券を運用していましたが、比較的风险の低い運用に切り替えたところ、活動資金をなかなか捻出できなくなっていることもあり、運用が難しいと思います。

【岡本委員長】

廃棄物処理センターについてですが、組織の解体が目に見えているので、プロパー職員はいなくなったということでしょうか。

【事務局】

稼働を休止した東予の事業所につきましては、職員退職による減少となっております。

【岡本委員長】

では、兼務職員の方が、今後の土地の譲渡に向けて活動をされているということでしょうか。

【事務局】

現時点では、施設の民間譲渡について、引き続き選択肢の一つとして探っておりますが、施設譲渡の不調を見据えて、廃止に伴う施設の処分や事業所の跡地をどう処理していくかも含め、関係者で相談していると聞いております。

【岡本委員長】

ホームページに、土地の処分に向けた仕様書作成等業務に係る入札結果について公表されていますが、落札金額が1千万円を超えていたと思います。

実際に土地を完全に処分するまでに結構なお金がかかりそうですが、どのように負担するのか検討しているのでしょうか。

【事務局】

今後の施設譲渡の不調も見据え、県や東予5市町との間で、廃止に伴う施設の処分や、財団の解散も含めた費用負担のあり方について、引き続き協議を行っていくこととなっており、関係者間で施設の確実な解体・撤去が不可欠との認識では一致していますが、具体的にどうなるかはまだ分からないと聞いております。

【岡本委員長】

他に御意見や御質問等はありませんか。

それでは、いくつか御意見を頂戴しましたが、それらに関しては今年度の経営評価の中で反映させていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。

その他全体を通してご意見ございませんか。

特にないようでしたら、以上で議事は終了します。

【事務局】

皆様、長時間の御協議大変お疲れ様でした。

以上で令和元年度第1回愛媛県出資法人経営評価専門委員会を終了します。

《 閉 会 》